

指定管理者制度活用事業 総括評価シート

評価年月日：平成30年7月10日

評価者：指定管理者選定評価委員会
高齢者施設部会（第2）

1. 業務概要

施設名	さいわい健康福祉プラザ
指定期間	平成26年4月1日 ～ 平成31年3月31日
業務の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉センターの業務 利用証の発行、教養講座・レクリエーション等の実施及び場の提供、健康相談・生活相談事業、入浴事業 ・施設等の維持管理に関する業務
指定管理者	名称：社会福祉法人 川崎市幸区社会福祉協議会 代表者：会長 佐藤 忠次 住所：幸区戸手本町1-11-5 さいわい健康福祉プラザ 電話：044-541-8000
所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者在宅サービス課（内線：32512）

2. 「評価の視点」に基づく事業期間全体の評価

	評価項目	事業実施状況等
1	市民や利用者に必要な量及び質のサービスを提供できたか。	<p>高齢者に対する健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するという老人福祉センターの目的を踏まえ、利用者懇談会の開催や満足度調査、意見箱の設置などにより利用者ニーズの把握を行い、利用者とも協議を行いながら施設の管理・運営に反映させた。</p> <p>また、利用者からの意見や参加状況を踏まえながら、講座等の内容や人気講座の実施回数を見直し、より多くの利用者が参加できるような取組を行った。</p>
2	当初の事業目的を達成することができたか。	<p>教養講座や行事の実施にあたっては、指定管理者応募時に事業計画書を提出し、それに基づきサービスの提供を行った。</p> <p>講座は利用者の教養の向上、健康保持増進、高齢者福祉の増進に資するとともに、利用者同士の交流の支援を基本方針とし、行事については地域との交流を深めることを基本的な考え方として実施した。</p> <p>いずれも指定管理者の創意工夫及び地域からの要望等を取り入れ、多くの参加者があり、利用者満足度調査においても高い満足度が得られるなど、適切なサービスを提供した。</p>
3	特に安全・安心の面で問題はなかったか。	<p>利用者の入館時や職員の出館時における利用者とのコミュニケーション等を通じ、心身の状況が日常と変わりないか確認し、利用者の健康管理に配慮した。</p> <p>また、安全管理の一環として、緊急時に利用者を守ることができるよう、災害時対応マニュアルを整備し、それらを活用しながら隣接する幸区役所などと合同で防災訓練を実施するなどの取組を行った。</p> <p>なお、施設の管理運営に関しては、毎年度事業報告書を提出させ、当該報告書の内容について評価を実施することで、安全・安心の面で問題がないことを確認した。</p>
4	更なるサービス向上のために、こういった課題や改善策があるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも、高齢者の心身に配慮しながら、魅力ある講座の企画等により利用者を増やすなどして、一層のサービス向上に努めること。 ・入浴利用者の健康状態の把握について、利用中又は利用後の急な体調変化等が想定されることから、引き続き積極的な声掛けを行い、より早期に把握できるよう努めること。 ・利用者が意見・要望を言いやすい環境をつくり、利用者ニーズを把握し、事業へ反映するよう努めること。 ・利用料金方式による通所介護（デイサービス）事業について、更なる業務改善及び創意工夫を図ることでサービスの向上が見られ、収支についても適正化に向けた努力が見られるため、引き続き取り組むこと。なお、当該事業については平成31年3月で廃止する予定であるため、平成30年度市及び関係機関との協力・連携を密にし、利用者及び家族への丁寧な対応と、利用者の他事業所への円滑な移行に取り組むこと。

3. これまでの事業に対する検証

	検証項目	検証結果																																																																	
1	所管課による適切なマネジメントは行われたか。	指定管理者と適宜連絡を取り合い、履行状況の確認及び報告を受けており、定期的に会議を開催し、運営上の課題等について、検討を図っている。また、毎年度終了後に、事業報告書の提出を受け、その際に、実地調査又はヒアリングを行い、適切な事業評価を行っている。																																																																	
2	制度活用による効果はあったか。	<p>★老人福祉センター関連 (サービス向上) 利用者ニーズを反映した事業実施により、利用者数もおおむね安定しており、市民に対して安定したサービス提供が図られているものと考える。 (経費の節減) 指定期間全体をとおして収支がマイナスとなっていないこと。また、決算額について、他の施設の実績を考慮すると妥当であるものと考える。</p> <p>利用者数及び入浴者数</p> <table border="1" data-bbox="488 674 1441 824"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>39,663人</td> <td>38,936人</td> <td>47,256人</td> <td>43,824人</td> </tr> <tr> <td>入浴者数</td> <td>2,690人</td> <td>2,773人</td> <td>2,294人</td> <td>2,279人</td> </tr> </tbody> </table> <p>教養講座</p> <table border="1" data-bbox="488 871 1441 1021"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>269回</td> <td>279回</td> <td>243回</td> <td>232回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>5,566人</td> <td>5,129人</td> <td>5,385人</td> <td>5,047人</td> </tr> </tbody> </table> <p>行事</p> <table border="1" data-bbox="488 1068 1441 1218"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>40回</td> <td>79回</td> <td>164回</td> <td>140回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>4,128人</td> <td>6,220人</td> <td>17,944人</td> <td>15,796人</td> </tr> </tbody> </table> <p>経費(単位:円)</p> <table border="1" data-bbox="488 1265 1428 1462"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>36,855,081</td> <td>37,630,681</td> <td>37,512,687</td> <td>37,572,451</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>36,853,464</td> <td>37,491,716</td> <td>36,042,107</td> <td>36,076,715</td> </tr> <tr> <td>差引額</td> <td>1,617</td> <td>138,965</td> <td>1,470,580</td> <td>1,495,736</td> </tr> </tbody> </table> <p>★通所介護(デイサービス)関連 (サービス向上) 利用者ニーズに対応した事業実施により、食事等のサービスや機能訓練を通じて、利用者の社会的孤立感の解消や心身機能の維持・向上、自立した在宅生活の支援は図られているものと考える。 (事業支出が事業収入を上回っている主な要因) <ul style="list-style-type: none"> ・本来は週に数回の通所介護利用が見込める方が、月に数回の利用となっていること(利用者家族のレスパイト的利用及び医療行為を必要とする利用者増)。 ・機械浴の利用者が多いため、対応が可能となる職員配置としたこと。 ※民間のデイサービスでは、状態像の観点から受け入れ難い利用者を、当事業所において、積極的に受け入れていった結果、安全確保の面から人員配置が厚くなり、運営面の負担に繋がった。 ・車椅子の利用者が増加したことで、上層階までの送迎等、送迎ルートに制限が生じてしまったこと。 ・通所介護事業所の大幅増加により、多種多様化しており、選ばれる時代となっていることから、利用定員の確保が困難となっていること。 【業務改善点等】 <ul style="list-style-type: none"> ・物品の新規購入抑制及び購入方法の工夫による需用費の削減 ・設備の軽易な修繕を職員が行うことによる修繕費削減 ・会議等の合理化及び有給休暇の計画的な取得推進によるワークライフバランスの確保 </p>		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	利用者数	39,663人	38,936人	47,256人	43,824人	入浴者数	2,690人	2,773人	2,294人	2,279人		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実施回数	269回	279回	243回	232回	参加者数	5,566人	5,129人	5,385人	5,047人		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実施回数	40回	79回	164回	140回	参加者数	4,128人	6,220人	17,944人	15,796人		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	収入	36,855,081	37,630,681	37,512,687	37,572,451	決算額	36,853,464	37,491,716	36,042,107	36,076,715	差引額	1,617	138,965	1,470,580	1,495,736
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度																																																															
利用者数	39,663人	38,936人	47,256人	43,824人																																																															
入浴者数	2,690人	2,773人	2,294人	2,279人																																																															
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度																																																															
実施回数	269回	279回	243回	232回																																																															
参加者数	5,566人	5,129人	5,385人	5,047人																																																															
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度																																																															
実施回数	40回	79回	164回	140回																																																															
参加者数	4,128人	6,220人	17,944人	15,796人																																																															
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度																																																															
収入	36,855,081	37,630,681	37,512,687	37,572,451																																																															
決算額	36,853,464	37,491,716	36,042,107	36,076,715																																																															
差引額	1,617	138,965	1,470,580	1,495,736																																																															

		<p>・デイサービス独自の広報誌を法人会員向けの広報誌に同封することや、法人広報誌にデイサービスのスペースを確保するなどの取組による広報費用の削減</p> <p>利用状況及び稼働率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延利用者数</td> <td>6,685人</td> <td>6,103人</td> <td>5,718人</td> <td>5,999人</td> </tr> <tr> <td>開所日数</td> <td>255日</td> <td>258日</td> <td>257日</td> <td>256日</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>26.2人(7%) 5%)</td> <td>23.7人(6%) 8%)</td> <td>22.2人(6%) 4%)</td> <td>23.4人(6%) 7%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>利用者変動状況 ※廃止利用者＝死亡、施設入所、入院等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規利用者</td> <td>24</td> <td>9</td> <td>22</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>廃止利用者</td> <td>30</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td>▲6</td> <td>▲10</td> <td>3</td> <td>▲2</td> </tr> </tbody> </table> <p>経費(単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>60,294,207</td> <td>52,692,338</td> <td>51,257,935</td> <td>49,795,927</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>58,031,844</td> <td>56,941,847</td> <td>48,336,685</td> <td>51,711,209</td> </tr> <tr> <td>差引額</td> <td>2,262,363</td> <td>▲4,249,509</td> <td>2,921,250</td> <td>▲1,915,282</td> </tr> </tbody> </table>		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	延利用者数	6,685人	6,103人	5,718人	5,999人	開所日数	255日	258日	257日	256日	稼働率	26.2人(7%) 5%)	23.7人(6%) 8%)	22.2人(6%) 4%)	23.4人(6%) 7%)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	新規利用者	24	9	22	16	廃止利用者	30	19	19	18	差引	▲6	▲10	3	▲2		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	収入	60,294,207	52,692,338	51,257,935	49,795,927	支出	58,031,844	56,941,847	48,336,685	51,711,209	差引額	2,262,363	▲4,249,509	2,921,250	▲1,915,282
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度																																																										
延利用者数	6,685人	6,103人	5,718人	5,999人																																																										
開所日数	255日	258日	257日	256日																																																										
稼働率	26.2人(7%) 5%)	23.7人(6%) 8%)	22.2人(6%) 4%)	23.4人(6%) 7%)																																																										
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度																																																										
新規利用者	24	9	22	16																																																										
廃止利用者	30	19	19	18																																																										
差引	▲6	▲10	3	▲2																																																										
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度																																																										
収入	60,294,207	52,692,338	51,257,935	49,795,927																																																										
支出	58,031,844	56,941,847	48,336,685	51,711,209																																																										
差引額	2,262,363	▲4,249,509	2,921,250	▲1,915,282																																																										
3	当該事業について、業務範囲・実施方法、経費等で見直すべき点はないか	<p>市民に対して比較的安定したサービスを提供したと言える。利用者数や収支についても大きな変動はないため、引き続き利用者のニーズ等を踏まえた施設運営が求められる。</p> <p>また、介護報酬及び利用者負担金で運営を行っている通所介護(デイサービス)事業を行っているが、当該事業については職員の創意工夫により経費削減を図っているが、収入を支出が大きく上回る年度もあるため、引き続き経費削減に努める必要がある。</p> <p>なお、平成31年3月で当該事業の廃止を予定しているため、市及び関係機関との協力・連携を密にし、利用者及び家族への丁寧な対応と、利用者の他事業所への円滑な移行に取り組んでいく必要がある。</p>																																																												
4	指定管理者制度以外の制度を活用する余地はないか	<p>本市においては、これまでの行財政改革プランの中で、「民間でできることは民間で」という原則のもと、公の施設への指定管理制度の導入を積極的に実施してきた。</p> <p>また、当該施設の老人福祉センターに係わる運営業務についてはサービスの質と量の提供が概ね維持されており、市民に対して安定したサービス提供が図られていること、また、これまでの実績において、法及び制度趣旨、財産管理等において問題がないことを勘案すると、指定管理制度を引き続き活用することが妥当であると考えます。</p>																																																												

4. 今後の事業運営方針について

当該施設は、平成18年度から指定管理者制度を活用して施設の管理運営にあたることとなり、現行指定管理期間で第3期目となる。これまで、利用者ニーズの把握や経費縮減に取り組むなど、適正・適切な運営を通じて、市民サービスの向上を図ることができた。

今後、老人福祉センターは、地域の高齢者のふれあいや生きがいの場としての機能に加え、地域包括ケアシステムの構築の中で、より一層地域に根ざした施設として地域交流の推進や介護予防に資する取組を担っていく施設であり、指定管理者の創意工夫により、更なるサービスの向上が期待されるため、引き続き、指定管理期間を5年間とし、指定管理者制度による管理運営が望ましいと考える。